



2024年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2024年2月9日

上場会社名 株式会社パルマ
コード番号 3461 URL <http://www.palma.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3234-0358

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第1四半期の業績(2023年10月1日～2023年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	457	11.8	3		8		5	
2023年9月期第1四半期	409	20.6	15		15		16	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	0.77	
2023年9月期第1四半期	2.44	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		%
2024年9月期第1四半期	3,515		2,252			64.0
2023年9月期	3,643		2,290			62.8

(参考)自己資本 2024年9月期第1四半期 2,251百万円 2023年9月期 2,290百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期		0.00		5.00	5.00
2024年9月期					
2024年9月期(予想)		0.00		6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の業績予想(2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計) 通期	3,476	47.7	265	57.7	245	40.0	147	32.4	21.80

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期1Q	6,752,793 株	2023年9月期	6,752,793 株
期末自己株式数	2024年9月期1Q	348 株	2023年9月期	348 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年9月期1Q	6,752,445 株	2023年9月期1Q	6,752,445 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におきましては、ウクライナ情勢の長期化に加えてイスラエル・ハマス紛争が勃発するなど世界経済の先行き不透明感が増す中、わが国経済においても円安進行・物価高騰・実質賃金減少・異常気象など依然として先行きが不透明な状況が続いております。このような状況の中、当社は、ビジネスソリューションサービス（セルフストレージ（トランクルーム）賃料債務保証付きBPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）・ITソリューションサービス等）の受託伸長と、ターンキーソリューションサービスにおけるトランクルーム施設の投資開発の推進及び運営施設の稼働向上に加え、既存サービスノウハウを活かした新サービスの開発・展開に向けた活動を進めてまいりました。

以上の結果、当1四半期累計期間の業績は、売上高は457,577千円（前年同四半期比11.8%増）となりました。損益面では、営業利益は3,835千円（前年同四半期は15,097千円の営業損失）、経常利益は8,000千円（前年同四半期は15,947千円の経常損失）、子会社日本パーソナルストレージ株式会社の株式について、事業環境や今後の見通し等を勘案し、関係会社株式評価損を特別損失に計上したことにより、四半期純損失5,183千円（前年同四半期は16,447千円の四半期純損失）となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

(ビジネスソリューションサービス)

当第1四半期会計期間は、堅調なセルフストレージの利用動向を背景に、非対面・非接触によるオペレーション環境へのシフトや利用料決済手段の拡張に向けたソリューションとして、賃料債務保証付きBPOサービスやWEB予約決済・在庫管理システム「クラリス」の導入がセルフストレージ事業者を中心に伸長、当第1四半期会計期間の本サービス新規契約件数は8,705件（前年同四半期比10.3%増）当四半期末時点の主力サービスの賃料債務保証付きBPOサービス受託残高は126,104件（前期末比0.7%増）となりました。

さらに、資本提携先の日本郵政キャピタル株式会社が属する日本郵政グループ企業の日本郵便株式会社が八幡西郵便局（福岡県）で試行するセルフストレージ事業向けに、セルフストレージ開発・運営関連サービスの提供を開始するなど、新規事業参入者や既存事業者からの新規提携も着実に進めております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は325,446千円（前年同四半期比14.8%増）、営業利益は106,168千円（同19.5%増）となりました。

(ターンキーソリューションサービス)

当第1四半期会計期間は、コンテナ型トランクルームの投資開発を推進、東日本を中心に14施設の開発投資を進めております。

さらに、これまで多数の取組により培った施設開発・運営ノウハウを活かした「物件診断・マーケティング・事業プラン提案 ⇒ 施設工事」と施設開業までのワンストップサービスを本格着手、セルフストレージ事業者・投資会社の新規出店・増床ニーズに対するソリューションとしてサービス提供を実施いたしました。

また、集客オペレーションや利用需要動向を勘案した賃料設定の見直し等により、施設の稼働向上が継続し、運営施設の賃料収入が前年同四半期比7.5%増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は132,131千円（前年同四半期比5.1%増）、営業損失は60,391千円（前年同四半期は66,808千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部

流動資産は、前事業年度末と比べて120,914千円減少し、3,324,498千円となりました。これは主に、仕掛販売用不動産が49,877千円増加する一方で、法人税等の納税等により現金及び預金が185,488千円減少したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末と比べて7,316千円減少し、191,059千円となりました。これは主に敷金が3,437千円増加する一方で、関係会社株式の減損による減少9,967千円があったことによるものであります。

この結果、当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比べて128,230千円減少し、3,515,558千円となりました。

②負債の部

流動負債は、前事業年度末と比べて80,534千円減少し、586,329千円となりました。これは主に、未払法人税等が48,322千円、未払金が10,294千円減少、契約負債が3,283千円増加したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末と比べて8,751千円減少し、677,190千円となりました。これは長期借入金が8,751千円減少したことによるものであります。

この結果、当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比べて89,285千円減少し、1,263,519千円となりました。

③純資産の部

純資産合計は、前事業年度末と比べて38,945千円減少し、2,252,038千円となりました。これは主に、配当金の支払33,762千円、及び四半期純損失5,183千円を計上したことによるものであります。

なお、自己資本比率につきましては前事業年度末より1.2ポイント上昇し64.0%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の通期業績予想につきましては、変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,699,589	2,514,100
金銭の信託	1,350	1,350
売掛金	133,145	110,803
求償債権	313,382	359,148
仕掛販売用不動産	361,574	411,452
その他	74,079	100,599
貸倒引当金	△137,708	△172,955
流動資産合計	3,445,413	3,324,498
固定資産		
有形固定資産	42,886	41,589
無形固定資産	15,528	14,556
投資その他の資産	139,960	134,913
固定資産合計	198,375	191,059
資産合計	3,643,789	3,515,558
負債の部		
流動負債		
短期借入金	27,000	27,000
1年内返済予定の長期借入金	300,004	300,004
未払法人税等	56,265	7,943
契約負債	117,521	120,804
その他	166,072	130,577
流動負債合計	666,863	586,329
固定負債		
長期借入金	676,041	667,290
その他	9,900	9,900
固定負債合計	685,941	677,190
負債合計	1,352,804	1,263,519
純資産の部		
株主資本		
資本金	599,918	599,918
資本剰余金	510,367	510,367
利益剰余金	1,179,975	1,141,029
自己株式	△173	△173
株主資本合計	2,290,088	2,251,142
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5	△5
評価・換算差額等合計	△5	△5
新株予約権	902	902
純資産合計	2,290,984	2,252,038
負債純資産合計	3,643,789	3,515,558

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	409,199	457,577
売上原価	249,557	267,573
売上総利益	159,641	190,003
販売費及び一般管理費	174,739	186,168
営業利益又は営業損失(△)	△15,097	3,835
営業外収益		
受取利息	1	1
投資有価証券売却益	1,962	6,721
その他	37	40
営業外収益合計	2,001	6,764
営業外費用		
支払利息	2,851	2,597
その他	—	1
営業外費用合計	2,851	2,598
経常利益又は経常損失(△)	△15,947	8,000
特別損失		
関係会社株式評価損	—	9,967
特別損失合計	—	9,967
税引前四半期純損失(△)	△15,947	△1,966
法人税、住民税及び事業税	572	4,962
法人税等調整額	△72	△1,746
法人税等合計	500	3,216
四半期純損失(△)	△16,447	△5,183

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネス ソリューション サービス	ターンキー ソリューション サービス			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	279,066	25,548	304,614	—	304,614
その他の収益	4,470	100,114	104,584	—	104,584
外部顧客への売上高	283,536	125,663	409,199	—	409,199
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	283,536	125,663	409,199	—	409,199
セグメント利益又は損失 (△)	88,827	△66,808	22,018	△37,116	△15,097

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△37,116千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用となります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネス ソリューション サービス	ターンキー ソリューション サービス			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	320,884	24,650	345,535	—	345,535
その他の収益	4,561	107,480	112,042	—	112,042
外部顧客への売上高	325,446	132,131	457,577	—	457,577
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	325,446	132,131	457,577	—	457,577
セグメント利益又は損失 (△)	106,168	△60,391	45,777	△41,941	3,835

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△41,941千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用となります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。